

## 雨の中で桜を楽しむ

4月1日、桜ボンボリまつりがコミュニティセンターみずしろで行われました。

今年はいにくの雨となり、行田大茶会のみ開催となりました。会場には毎年恒例の茶会を楽しみにしている人や花見をする人が訪れ、茶と和菓子を味わいながら、ゆったりとした時間を過ごしていました。また、水城公園には咲き始めた桜を見ようと、傘を差しながら散策する人の姿が見られました。



## ソシオ流通センター駅が開業

3月31日、秩父鉄道の持田駅と熊谷駅との間の新駅「ソシオ流通センター駅」の竣工式が行われました。

この駅は、同鉄道36番目の駅として4月1日に開業。式では、工藤市長が「新駅開業を契機として定住人口や交流人口の拡大など、地域活性化につなげていきたい」と述べた後、出席者らによりテープカットが行われました。（関連記事4ページ）

## 自転車や徒歩で巡る春の行田

3月25日、行田市自治会連合会主催の「行田ふれあいポタリング&ウォーキング2017」が行われました。

今年で3回目となったこの催しには、ポタリング30キロメートルと15キロメートル、ウォーキング10キロメートルの3つのコースが設けられ、市内外から260人が参加。自転車や徒歩で市内の名所などを巡り、菜の花が咲き誇る春の行田を満喫していました。



## 鉄剣マラソン大会に陸王PRブースが登場

4月2日に開催された「陸王杯 第33回鉄剣マラソン大会」に陸王PRブースが登場しました。

ブースでは、昨年発売された行田の老舗足袋業者の奮闘を描いた池井戸潤さんの小説「陸王」が今年10月にTBSの「日曜劇場」でドラマ化されることを受け、本やオリジナルTシャツを販売。Tシャツは大好評で、着用してマラソンに参加する人もいました。現在、このTシャツはTBSストア、TBSishop、行田市観光協会などで販売しています。



## 華麗な舞いを披露

4月17日、行田春まつりが、市役所前からみずしろ交差点手前までの公園通りで開催されました。

会場では春の苗木や草花を中心にたくさんの露店が軒を連ね、多くの人出でにぎわいました。また、行田音頭保存会が鮮やかな青い着物姿で「新・行田音頭」を華麗に舞い、来場者を魅了していました。



## まいごまいご「米娘舞娘」が新メンバーと新曲を発表

4月4日、さきたま古墳・行田古代米カレーと行田市の観光をPRするユニットとして活動している「米娘舞娘」の新メンバー5人が市役所を訪れ、工藤市長に新曲「GO! GO! 行田」を披露しました。

「とても緊張した」と照れるメンバーに工藤市長は「今後の活躍を期待しています」と笑顔で激励していました。今後も米娘舞娘は各種イベントなどで、その元気な歌とダンスで会場を盛り上げ、行田の魅力をたくさんの人に届けてくれることでしょう。



## 粘り強いプレーで勝利をつかめ

4月8日、総合公園野球場で第113回行田市少年野球春季大会が開催されました。

「躍動大会」と名付けられた今大会にはレギュラーの部に11チーム、ジュニアの部に4チームが出場。この日のために練習を重ねてきた選手たちは、小雨の降る中、優勝を目指して試合に臨みました。チームのために、粘り強いプレーを見せた選手に観客からも声援が送られていました。



## 「交通事故ゼロ」を願って

4月6日、行田市交通安全対策協議会主催の「春の全国交通安全運動出発式」が行われ、工藤市長や三ツ木行田警察署長らが出席しました。

産業文化会館前行田市交通安全母の会会長高橋綾子さんが交通安全宣言を行った後、約80人の参加者は埼玉小学校金管バンドクラブの演奏に送られて郷土博物館に向けて出発。「交通事故ゼロ」を願い、歩行者や車に交通安全を呼び掛けました。

